

省エネルギーと地球温暖化を

考えさせられる二つのポイント

地球温暖化問題については皆さんもよくご存じのことと思います。先月の一日から十一日までは、気候変動枠組条約第三回締約国会議（地球温暖化防止京都会議）が開催されました。

地球を温暖化させる二酸化炭素（CO₂）の増大が地球環境にとって重大な危機をもたらしています。エネルギーの消費は地球を温暖化させる二酸化炭素の増大に密接な関係があります。しかし、生活のゆとりと豊かさの追求を背景としたライフスタイルの変化により、世界各国ともエネルギーの消費量が年々増加していると思えます。

毎日の生活に欠かすことができない家庭用電化製品は冷蔵庫、ルームエアコン、カラーテレビ、洗濯機、電子レンジなどたくさんあります。省エネすることは、地球の環境や資源を守るだけでなく、家計の節約にもなります。

身近にできる省エネ

イ・待機時消費電力

テレビやエアコンなどは、リモ

コンで電源を切っても電力は消費されています。これを待機時消費電力といいます。使用しないときは主電源を切りましょう。

□・冷蔵庫のドアパッキンに注意
冷蔵庫のドアにすき間があると消費電力で5〜15%アップ。ドアパッキンに名刺を挟んでずり落ちるようなら傷んでいる証拠だそうです。

ハ・暖房器具のフィルター

フィルターが汚れていると効きが悪くなり、電気の無駄遣いになります。

二・お風呂の水張り

夏は朝、冬は直前の水張りです。エネルギーの節約になります。

地球温暖化がもたらす影響

大気中の二酸化炭素など、温室効果ガスの濃度が増すと、次のような悪い影響が生ずる心配があるそうです。

1. 国土

南極、北極の水が溶けて海面が上昇し、陸地の水没、津波の危険も増加する心配があります。

2. 生態系

地球全森林の植物の生態が大きく変化する心配があります。

3. 食料生産

食料の生産量が低下し、食料不足も考えられます。

4. その他

伝染病の増加、洪水、干ばつなどの心配があります。

美しい地球を将来に残すには

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減らすことが必要です。そのためには、市民、企業、行政が協力して省エネルギーを一層進めていく必要があると思います。

大館市（行政）では、各家庭から出されるごみを、燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ、粗大ごみ、有害ごみに分別して収集してきました。それで、大館市は、他市町村より環境への取り組み方が進んでいると思います。他市町村のかたがたと話し合う機会には、半ば自慢しながら話していました。しかし、大館広域市町村圏組合（大館市、比内町、田代町）の第一環境センター（ごみ焼却場）から毒性が高いといわれるダイオキシンが厚生省の暫定基準を上回って検出されたのには驚きでした。ダイオキシンへの対処として、

行政では早速七月一日からごみの分別をさらに細分化し、塩化ビニール系六品目を加えました。この分別の協力を市民に呼び掛けたところ、八月に採取した排出ガスの調査結果では、約三分の一に低下したという報告でした。

大館市（行政）の現状は

大館市（行政）では、ごみ処理について広報活動などを通じて効果を上げてきました。しかし、省エネルギー（地球温暖化防止）対策として、どんな計画や対策などをお持ちかお聞きしたいと思い、都市開発課の館山課長、兜森係長、生活環境課の細羽見課長補佐の三



取材を受ける館山課長、細羽見課長補佐、兜森係長(左から)